

科目名	異文化間コミュニケーション論 特殊研究	担当者	ニシダ 西田	ツカサ 司	期間	通年	単位数	4
-----	------------------------	-----	-----------	----------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>アメリカのヒューマンコミュニケーションの研究領域においては、理論研究と特定テーマの研究が行われています。そのことは、日本における研究に影響を与えています。</p> <p>本講座の目的は、価値観と文化心理に関するコミュニケーション研究について学ぶことです。それぞれの研究は異文化間コミュニケーション研究の特定テーマの研究でもあり、40数年の調査と研究の蓄積があり、異文化間コミュニケーション研究に欠かせない研究です。</p> <p>以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す。</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】 グローバル社会において文化背景の異なる人と共生する際に必要な知識とコミュニケーションの能力について理解を深めなければなりません。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 学修者は、専門書を読み、レポートを執筆し、添削指導を受けることにより、専門領域に関する知識を身につけます。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15時間                      レポート執筆：15時間 レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15時間</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 レポートの添削指導を繰り返し行います。</p> <p>【学修方略（LS）】 初原稿から最終原稿までレポートの添削指導を行います。</p>		
スケジュール	<p>提出期限は、manaba_folioならびに学事暦記載のとおりです。</p> <p>レポートについては、添削指導を行います。つまり1回目の草稿を受け取り、1週間くらいでコメントをつけ戻します。コメントを参考に、2回目の草稿を提出してください。</p> <p>レポートの提出には十分に時間的な余裕をもって臨んでください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	レポートの内容（構成，論旨，引用文献，独創性）60% 提出状況（期限の順守）20%
	平常評価	20%	草稿の改善度（草稿への加筆，修正）20%
履修者への要望	<p>課題については、教科書や参考書をよく読み、よりよいレポートを作成してください。</p> <p>・考察については、知識と体験をもとに、要約に現れた専門用語を用いて、よりよいレポートを作成してください。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： マツモト, D. 教材名： 『文化と心理学：比較文化心理学』（北大路書房, 2001年）ISBN: 978-4-76-282220-9 2,500円＋税
	文化と自己, 感情という構成と, 文化と言語, コミュニケーションという構成でもって, 本書のテーマの心理とコミュニケーションを論じています。 心理学の研究に, 文化的要因を認める必要性が強調されているところから, 異文化間コミュニケーションの領域でもよく読まれている文献です。
参考図書	北山忍『自己と感情』（共立出版, 2003年）ISBN:978-4-32-002859-3 2,600円＋税 Matsumoto, D. (2000). Culture and Psychology: People around the World. Wadsworth ISBN:0-534-35436-X
履修上のポイント	本書は, 40 数年にわたる研究の翻訳書なので, 翻訳された類書を探すのは難しいが, 本書をじっくり読むことや, 英語で書かれた類書を読むことは, この領域を学ぶことでは, たいへん意味のあることです。まず, レポートの要約の作成に全力を尽くしてください。その後, 自分の知識や経験をもとに, 考察してください。
レポート課題 1	第 1 章～第 4 章を 4,000 字で要約し, その中から 1 つの章 (あるいはテーマ) を選び, 知識や経験をもとに 1,000 字で考察してください。 <b>留意点:</b> 考察では, 要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。
レポート課題 2	第 5 章～第 7 章を 3,000 字で要約し, その中から 1 つの章 (あるいはテーマ) を選び, 知識や経験をもとに 1,000 字で考察してください。 <b>留意点:</b> 考察では, 要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 山口 勸 教材名： 『社会心理学』（東京大学出版会, 2003年） ISBN:978-4-13-012037-1 2,600円＋税
	著者によると, 本書はアジアの観点からの社会心理学の入門書です。 「アメリカで提案された理論は, どの文化でも当てはまる」という前提で提示されています。本書は, 「社会心理学で扱う社会的要因は文化と密接に関連している」という観点から, その前提を検証するユニークな書です。
参考図書	Triandis, H. C. (1995) Individualism & Collectivism. Westview: USA ISBN:979-0-81-331849-3 (Hardcover) トリアンデイス, H.C. 『個人主義と集団主義』（北大路書房, 2002年）
履修上のポイント	個人主義と集団主義という見方をまず理解してください。 次に, 「甘え」「面子」といったアジアの心理価値に関する研究を理解してください。
レポート課題 1	第 1 章～第 3 章を 3,000 字で要約し, その中から 1 つの章 (あるいはテーマ) を選び, 知識や経験をもとに 1,000 字で考察してください。 <b>留意点:</b> 考察では, 要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。
レポート課題 2	第 11 章, 第 13 章, 第 14 章を 3,000 字で要約し, その中から 1 つの章 (あるいはテーマ) を選び, 知識や経験をもとに 1,000 字で考察してください。 <b>留意点:</b> 考察では, 要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。